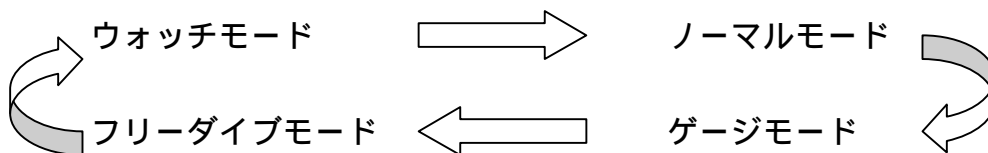


## フリーダイブモード

IQ900が動作モードとしてフリーダイブモードが選択されている場合、IQ900はデジタル深度計として機能します。体内窒素蓄積量は酸素濃度比率（F O 2）がAir設定の条件で計算し、体内窒素蓄積量のデータはフリー及びノーマルダイブモードで24時間の間共有されます。

フリーダイブモードへの移動は、ウォッチモード画面の時にMボタンを3回（各回2秒押し）押してください。また、ゲージサーフェスマイン画面が表示されている間はMボタンを1回（2秒押し）押してください。



- ・画面上部にFREの文字が点滅し、フリーダイブの動作モードになった（セット可能）ことを知らせます。
- ・選択したいモードの表示が点滅している間にMボタンを押してください。点滅が点灯に変わると、そのモードを選択したことになります。

フリーダイブモードのスタート画面の表示( 図1 )

上部にFREの文字

中央部左側にtot。その右側に水面休息时间

下部に と反復フリーダイビングの合計数

を表示します。

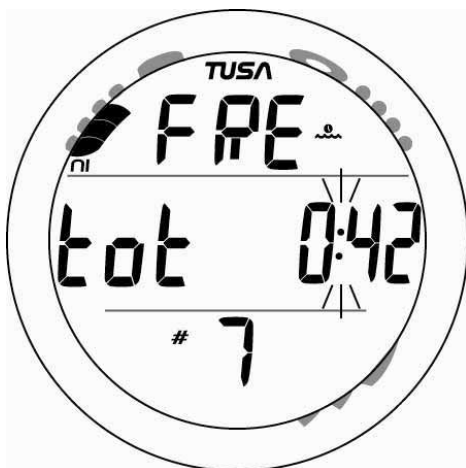


図1

この画面でMボタンを1回押すとウォッチ画面に戻ります。

Lボタンを押すとバックライトが点きます。

A ボタンを押すとフリーダイビング補助画面 1 へ進みます。  
(フリーダイビングを全く行っていない場合、温度と時計が表示されます)

A ボタンを 2 秒押しするとカウントダウンタイマー画面へ進みます。  
(初期設定の場合、OFF 0:00 と表示されます)

A ボタンと S ボタンを同時に 2 秒押しするとフリー潜水経過時間 (EDT) 警告音画面へ進みます。

#### フリーダイビング補助画面 1

上部に最後にフリーダイビングを行った時からの水面休息时间  
中央部左に LAST。その右側に前回のフリーダイビング潜水経過時間  
下部に前回のフリーダイビングの到達最大深度  
を表示します。

フリーダイビング補助画面 1 の時に、A ボタンを押すとフリーダイビング補助画面 2 へ進みます。また、5 秒間ボタン操作をしないとフリーダイブモードのスタート画面に戻ります。

#### フリーダイビング補助画面 2 ( 図 2 )

画面中央左に温度、その右側に現在時刻が表示されます。  
画面は 5 秒間ボタン操作をしないとフリーダイブモードのスタート画面に戻ります。



図 2

#### フリーダイブモードのカウントダウンタイマー

ウォッチモードのカウントダウンタイマーとは別に、フリーダイブモード独自のカウントダウンタイマー機能が備わっています。

A ボタンを 2 秒押しするとカウントダウンタイマーステータス画面へ進みます。

表示される情報と操作方法はウォッチモードの時とよく似ています。

上部に CDT の文字

中央部左側に ON の文字 ( カウントダウンタイマーが ON に設定され、カウントダウンが

行われている場合)。その右側に進行中のカウントダウンタイムが表示され、0:00 になるまでカウントダウンが進んでいきます。(図3)

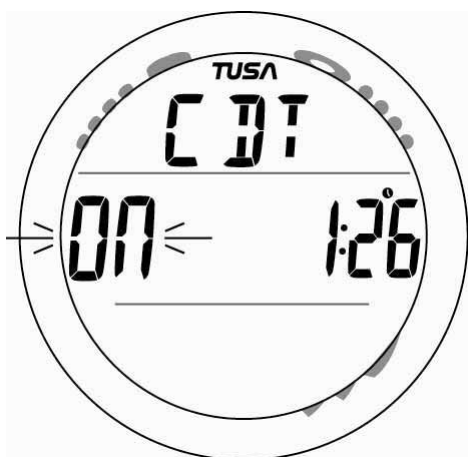


図3

カウントダウンが進行中にSボタンを押すとカウントダウンは停止し、中央左側にOFFの文字が点滅します。もう一度Sボタンを押すとONの点滅に変わりカウントダウンが進んでいきます。

カウントダウンタイマーが0:00になると、アラームが鳴ります。

また、タイマーがOFFの場合は、以前に設定されたカウントダウンタイムが表示されます。(初期設定の場合は中央左側にOFF、右側に0:00と表示されます)



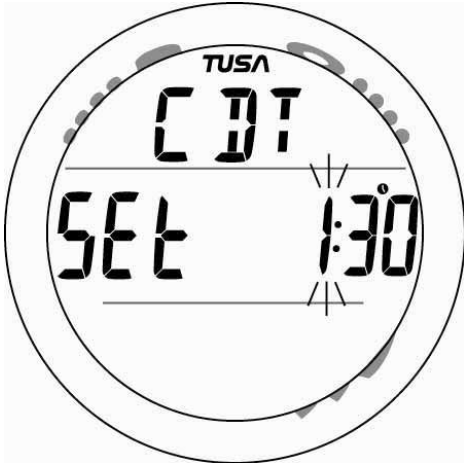
**注意** ダイビング中はカウントダウンタイマーのON(開始)とOFF(停止)は出来ませんが、設定は出来ませんのでご注意ください。

このカウントダウンタイマーステータス画面でAボタンを押す、またはMボタンを2秒押すと、フリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

#### カウントダウンタイムの設定

フリーダイブモードスタート画面からAボタンを2秒押してカウントダウンタイマーステータス画面に行きます。

AボタンとSボタンを同時に2秒押すとカウントダウンタイマー設定画面になります。(図4)



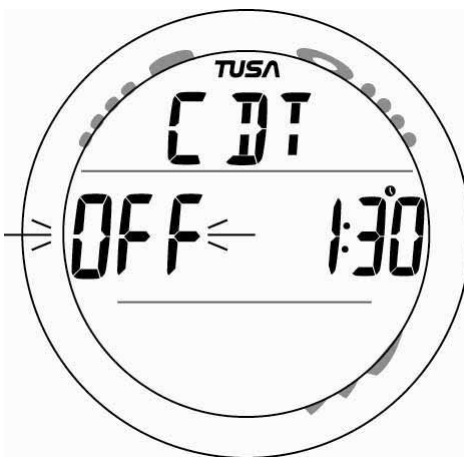
( 図 4 )

分の設定値が点滅中に S ボタンを押して分の設定を行います。

A ボタンを押すと分の設定値を保存して秒の設定に進みます。

秒の設定値が点滅中に S ボタンを押して秒の設定を行います。

A ボタンを押すと SET 表示が OFF の点滅表示に変わり、カウントダウンタイマーの設定値が保存したことを知らせます。( 図 5 )



( 図 5 )

S ボタンを押すと OFF の点滅が ON の点滅に変わり、カウントダウンタイマーがスタートします。

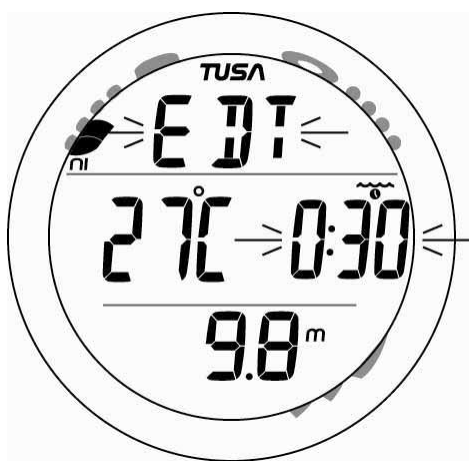
A ボタンを押す、または M ボタンを 2 秒押すと、フリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

フリーダイブモード警告音

フリーダイブ潜水経過時間(EDT)警告音

ノーマル・またはゲージモードの潜水経過時間警告音とは別に、フリーダイブモード独自の潜水経過時間警告音設定機能があります。

フリーダイブモード潜水経過時間(EDT)警告音は工場出荷時で30秒にセットされています。この機能をONに設定した場合、設定された時間ごとに短い警告音が3回鳴り、30秒ごとに上部画面にEDT、中央部右側に時間が点滅表示します。(図6)



(図6)

フリーダイブモード警告音の設定

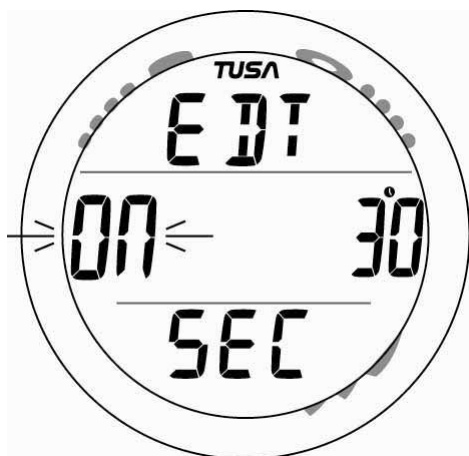
フリーダイブモードスタート画面からAボタンとSボタンを同時に2秒押して、フリーダイブ経過時間警告音設定画面へ切り替えます。

上部に EDT。

中央左に ON または OFF の設定値が点滅、右側に設定時間の 30 秒が表示。

下部に SEC

が表示されています。(図7)



(図7)

S ボタンを押すことによって ON、または OFF の設定値を変更する事が出来ます。

A ボタンを押すと設定を保存してフリーダイブ深度警告音設定 1 画面に進みます。

M ボタンを 2 秒押すか、2 分間ボタン操作が無い場合はフリーダイブモードスタート画面に戻ります。



注意 フリーダイブモード潜水経過時間警告音は水面でのみ ON / OFF の設定が出来ますが、フリーダイビング中は変更出来ませんのでご注意ください。

フリーダイブモード深度警告音( DA )

ノーマル・またはゲージモードの深度警告とは別に、フリーダイブモード独自の深度警告設定機能があります。

深度警告には 3 段階の深度設定と、ON / OFF 設定が可能です。

警告音 1 が OFF の場合、警告音 2 と 3 は無効になります。

警告音 2 が OFF の場合、警告音 3 の設定は無効になります。

フリーダイビング中に各設定深度に達した場合、3 回の短い警告音が 3 回鳴り、画面上部の DA1 ( DA2、 DA3 ) と、画面下部の深度表示が点滅します。( 図 8 )



( 図 8 )

フリーダイブモード深度警告音の設定

フリーダイブモード深度警告音設定 1

フリーダイブモードスタート画面から A ボタンと S ボタンを同時に 2 秒押して、フリーダイブ経過時間警告音設定画面へ切り替えます。

A ボタンを押してフリーダイブ深度警告音設定 1 画面へ進みます。

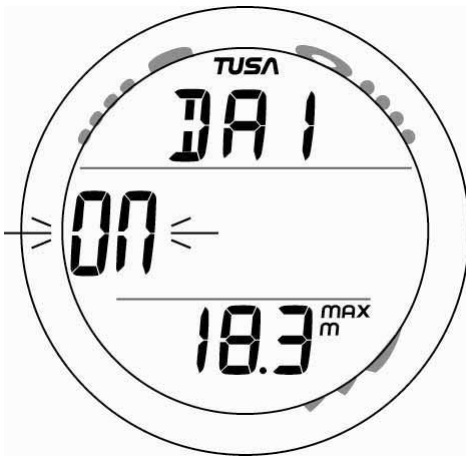
フリーダイブ深度警告音設定 1 画面では、

上部に DA1

中央左に点滅する ON の文字

下部に設定深度が表示されます。( 図 9 )

( 中央左の文字が点滅する OFF の場合、下部に設定深度は表示されません )

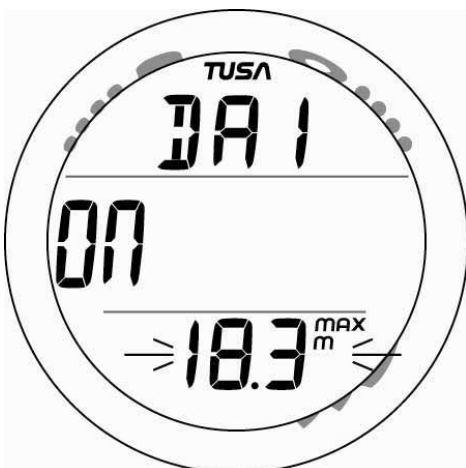


( 図 9 )

S ボタンを押すことによって ON、または OFF に設定を変える事が出来ます。

( OFF を設定した場合、DA2、DA3 の設定は向こうとなり、フリーダイブモードスタート画面に戻ります )

設定を ON にした状態で A ボタンを押すと、下部に表示されている深度が点滅し、S ボタンを押す事で設定深度を帰る事が出来ます。一回押すごとに 1 m ずつ、10m ~ 100m の間で数値を増やす事が出来ます。また、S ボタンを押し続けると、指を離すまで数値は増加していきます。( 図 10 )



( 図 10 )

A ボタンを押すと DA1 設定を保存して DA2 画面へ進みます。  
M ボタンを 2 秒押すか 2 分間ボタン操作が無い場合は、フリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

#### フリーダイブ深度警告音設定 2 ( DA2)

表示、及び設定の手順はフリーダイブモード深度警告音設定 1 と同じです。このフリーダイブモード深度警告音設定 2 の設定を OFF にした場合、DA3 の設定は無視されてフリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

設定 1 に続き設定を ON にした状態で A ボタンを押すと、下部に表示されている深度が点滅し、S ボタンを押す事で設定深度を帰る事が出来ます。一回押すごとに 1 m ずつ、10 m ~ 100m の間で数値を増やすことが出来ます。また、S ボタンを押し続けると、指を離すまで数値は増加していきます。

深度の設定が終わり A ボタンを押すと、DA3 設定を保存して DA3 画面へ進みます。

このフリーダイブモード深度警告音設定 2 の設定を OFF にした場合、DA3 の設定は無視されてフリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

このフリーダイブモード深度警告音設定 2 の深度設定の範囲は、設定 1 の設定震度よりも深い深度になります。

#### フリーダイブ深度警告音設定 3 ( DA3)

表示、及び設定の手順はフリーダイブモード深度警告音設定 1、2 と同じです。このフリーダイブモード深度警告音設定 3 の設定を OFF にした場合、フリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

設定 2 に続き設定を ON にした状態で A ボタンを押すと、下部に表示されている深度が点滅し、S ボタンを押す事で設定深度を帰る事が出来ます。一回押すごとに 1 m ずつ、10 m ~ 100m の間で数値を増やすことが出来ます。また、S ボタンを押し続けると、指を離すまで数値は増加していきます。

深度の設定が終わり A ボタンを押すと、フリーダイブモードスタート画面へ戻ります。

このフリーダイブモード深度警告音設定 3 の深度設定の範囲は、設定 2 の設定震度よりも深い深度になります。



## フリーダイブ潜水モード

フリーダイブ潜水画面の表示( 図1 1 )

上段左には、もし 24 時間以内にノーマルダイビング、またはフリーダイビングを行った場合、画面上段左上に残留窒素量が表示されます。

上段に無減圧潜水時間

中段に左側に水温。右側に潜水経過時間

下段に現在深度

が表示されます。



( 図 1 1 )

A ボタンを 2 秒以上押して離すと、フリーカウントダウンタイマーのステータス画面へ切り替わります。

## フリーカウントダウンタイマー

フリーカウントダウンタイマーステータス画面では、画面上部に CDT が表示され、中段左側に ON (または OFF) が点滅します。( 図 1 2 )



( 図 1 2 )

もし ON 状態でカウントダウンタイマーが進行している場合、カウントダウンタイムのコロン（“：”）が点滅します。また、もしカウントダウンタイマーが終了し、残り時間がなくなった場合は、0：00 表示と、コロンが点滅します。

もし OFF 状態の場合は、その前にセットしたカウントダウンタイマーの時間が表示され、（この場合コロンは点灯した状態）ON にするといつでもその時間からカウントダウンタイマーがスタートできる状態を示しています。

カウントダウンタイマーステータス画面で S ボタンを 2 秒以上押して離すと、ON と OFF（またはカウントダウンタイマースタート / ストップ）の設定を変えられます。

A ボタンを 2 秒以上押して離すとカウントダウンタイマー画面 2 へ移ります。

もし 10 秒艱何の操作も行われない場合は、フリーダイブ潜水メイン画面へ戻ります。

フリーカウントダウンタイマー画面 2 表示（図 1 3）

中段にその日の現時点での時間が表示されます。

下段には最大潜水深度が表示されます。



（図 1 3）

#### フリー潜水警告音

フリー潜水モードにおいて、何かが起きている場合、または何かが生じている為に画面を確認させる目的で、短い警告音が 3 連続で（3 連続を一回とカウントして 1 ~ 3 回）鳴ります。

また、同様の目的で、聞き取れる音の他に、無減圧線 s 縫い時間表示がされる場所（上段エリア）にて文字などが点滅します。

フリー潜水警告音は、ノーマルダイブ、またはゲージモードダイブで設定した警告音設定とはプログラム上切り離されて（影響を受けません）います。

#### フリーカウントダウンタイマー警告音( CDT)

フリー潜水カウントダウンタイマーが0：00になると、3回の短い警告音が3回鳴り、その間画面上部に表示される CDT が点滅します。警告音が鳴り止むと、フリー潜水画面へ戻ります。(図14)



(図14)

#### フリー潜水深度警告音( FDA)

深度が深度警告音設定深度に達した時、3回の短い警告音が3回鳴り、その間画面上部に表示される DA1 が点滅します。警告音が鳴り止むと、フリー潜水画面へ戻ります。(図15)



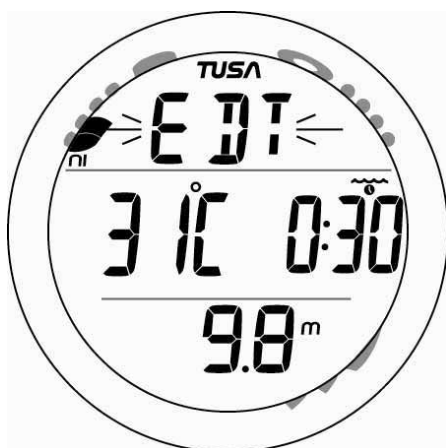
(図15)

深度警告音2、深度警告音3それぞれが設定されていて、またそれらがONの設定になっている場合、それぞれの深度に達した場合も同様の警告音と表示が画面上部に点滅します。

設定深度よりも浅い水深に浮上した後、再度設定深度より深い水深へ潜行すると、それぞれの警告音（DA1-DA3）が再度鳴ります。

#### フリー潜水経過時間警告音（EDT）

フリーダイビング開始前に潜水経過時間警告音を ON にしておくこと、その設定時間を経過するごとに短い警告音が 3 回鳴り、画面上段に表示される EDT が点滅します。（図 16）



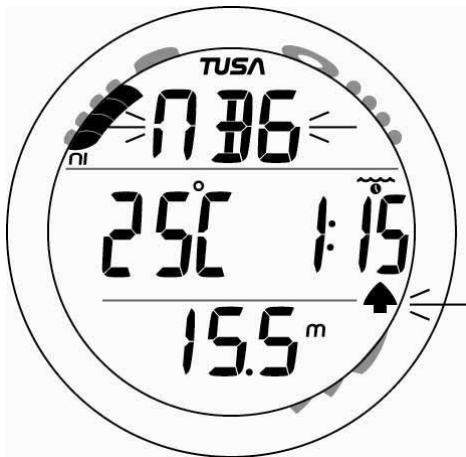
（図 16）

フリーダイビング開始前にフリー潜水経過時間警告音の設定を ON して置くと、その設定時間を過ぎると 30 秒ごとに一回鳴るよう工場出荷時に設定されています。

#### 窒素バーグラフ 警告音

フリーダイビングモード中は、24 時間以内に行われたフリーダイブ、またはノーマルダイブによる体内窒素蓄積量を画面上段左側の窒素バーグラフにより表示します。

体内窒素量が警戒レベルまで上昇すると、3 回の短い警告音が 3 回鳴り、画面上段左側の体内窒素蓄積量バーグラフが 4 目盛りまで表示され、画面上段中央に NBG サインが点滅し、画面下段右側に上向きの矢印が表示されます。（図 17）



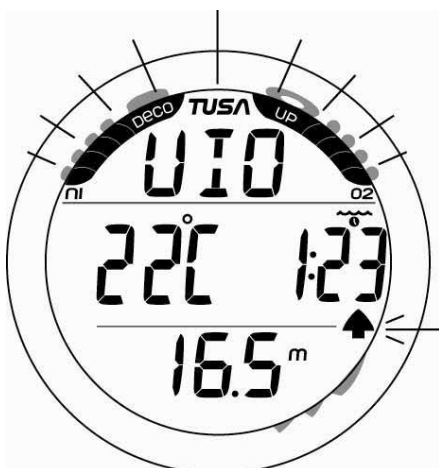
(図17)

体内窒素蓄積量バーグラフが3目盛りに下がった時点で、画面上段のNBGサインが消え、画面下段右側に上向きの矢印も消えます。

もし窒素量が減圧が必要な状態まで増加すると、次の24時間は違反モードになります。

#### フリーダイビング中の減圧潜水

フリーダイビング中に減圧潜水状態に入ると3回の短い警告音が3回鳴り、全ての体内窒素蓄積量バーグラフと体内酸素蓄積量バーグラフの目盛りが表示されて点滅し、画面上段にVIOの文字が表示されて点滅し、画面下段右側に上向きの矢印が表示されます。(図18)



(図18)

浮上後、画面下段右側に上向きの矢印が消えます。また、浮上後10分経過すると、全ての体内窒素蓄積量バーグラフと体内酸素蓄積量バーグラフの目盛りが消えます。

画面上段に表示されているVIOの文字は、24時間経つとFREの文字へと替わりますが、コンピューターは違反モードとなり、操作はロックされます。この間、時計モードへのアクセスは出来ませんが、ノーマルダイブモードやゲージモードへのアクセスはロックされていて出来ません。

## フリーダイブモードに関する追加情報

フリーダイビングではレギュレーターを使用しないとはいえ、体内窒素は組織の中に残ります。体内窒素は空気の FO<sub>2</sub> 値に基づいて計算されます。ユーザーはノーマルダイビングとフリーダイビングを 24 時間以内に交互に行う事もあるので、窒素計算と表示される無減圧潜水時間の値は双方のモードで共有され、それによって窒素の吸収と排出の状況を把握する事が出来ます。

本製品で用いられている数学的モデルは無減圧 / 減圧マルチレベル反復潜水スケジュールに基づいています。アルゴリズムは競技タイプのフリーダイビングを考慮していません。

## 警告

- ・ダイビングを行う前には本体のモードが何モードになっているのか（ノーマルダイブ、ゲージ、フリーダイブ）必ず確認してください。
- ・ノーマルダイビングを行って 24 時間以内に複数の急浮上を繰り返すフリーダイビングを行うと、減圧症にかかる危険性が増加します。このような潜水は減圧潜水を加速させ、その結果重大な怪我（重症）や死亡に至る危険性が発生します。
- ・複数の先行と浮上を繰り返す競技タイプのフリーダイビング活動と、スクーバタンクを使用したノーマルダイビングの両者の活動を 24 時間以内に行う事はお勧めしません。尚、現在そのような活動に対する詳しいデータはありません。
- ・競技タイプのフリーダイビングを行う方は、必ず認可を受けたフリーダイビングインストラクターから適切な指導やトレーニングを受けてください。なぜならこのような活動には生理的な影響が避けられない事を理解すると共に、肉体的にも準備が整っていないといけないからです。